

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	4b	より良いケアを提供するためのミーティングに日々の気づきやケアのアイデア介護計画に充分反映されていない現状がある。また計画に沿った日々の記録量が少ない。	職員からの気づき・アイデア等をパソコン記録上に残し、介護計画を立案する際、そのデータを介護計画に反映する。また職員への周知を行っていく。	1. 日々の心身状態変化及び本人の言葉や職員間にてケア向上に繋がる内容や気づきについてパソコンに入力する。 2. 些細な利用者の言葉や動作を見逃さず報告・申送り記録ノートに記録する習慣を身につける。	6 か月	1回/2か月 ミーティングにて個別ケアの評価時、担当ケアマネジャーよりケアプランの内容に即した実践について再確認を行い職員全員に協力要請を図り支援している。パソコンへの入力は、主観的情報・客観的情報を入力可能な状況へ移行している。また個々人の状態変化や必要な情報については、申し送り記録ノートに各職員が記載し確認する習慣づけを継続的に行っている。
2	10abcd	暮らし中で人としての尊厳をもち、言葉使いや態度が、ホーム内の質の標準まで達していない状況にある。	自らが言葉やケアの姿勢に着目し、ホーム内共有スペース(トイレを除く)以外は、個人プライバシーが守られる居場所であることの自覚を持ち日々の業務を遂行する。	1. 居室・トイレに入室する時は、必ず利用者に声かけを行為の許可を得て入室する。 2. 人として尊厳を守り、ケアを行う時は、一人ひとりに声かけとケアの方法を考慮する。 3. 職員相互にて、日々の言葉かけやケア内容について話し合う機会をもつ。 4. 接遇について、書面或いは研修において振り返りの機会を設ける。	6 か月	全てまでは至っていないが、個々人のケア及び清掃・シート交換等時「何を実施するのかの内容」の声かけを行い居室に入室する事を心掛けている。また、職員相互にてケア内容における話し合いの機会を設け、不足内容については都度に注意喚起を行っている。時間の経過と共に若干友達言葉となっている状況も見受けられる時があり、ゲストとホストの関係を維持できる環境を整えている状況にある。
3	37dgh	コロナ禍において、家族と利用者が気軽に会える状況となっていない。家族や友人との交流が感染対策の中、一緒に過ごせる時間に限りがあり、双方満足できる環境ではない。	家族や友人との交流を設備・備品等の創意工夫を行い、できるだけ一緒に過ごせる時間の確保を行う。	1. 運営推進会議及び機器関連会社にて、機器について幅広く情報を得る。 2. 利用者及び家族に画像動画によるコミュニケーション方式の導入について、アンケート調査を行う。 3. 機器を使い、画像を通してコミュニケーションを図る。 4. 空調を考慮できる設備の導入を検討する。	6 か月	目標を踏まえ、運営推進会議及び管理者会議において情報を得る機会を設けている。情報は、多々入手できる環境にあるが、機器導入にあたり、情報保護に関連する声が多々あり、ネット環境を如何に整えるが、またタブレットや携帯の活用により、動画配信等検討している途中にある。面会における感染防止対策として、内玄関の空調設備の導入を視野に入れていたが導入には至っていない。現在緊急性に有無を判断し、透明フィルムを通して、手洗い・マスク着用・10分以内の面会を行っている状況にある。尚昨年12月より毎月初旬、各担当者が利用者様のご様子や画像を便りとして郵送している。このことにより、面会による交流はできかねるが、暮らしがわかるようになり安心したという家族からの声を受けることができるようになっている。
4	51abc	地域において認知症を有する施設であることの周知が行えていない現状がある。地区住民として地域交流の妨げになる可能性がある。	柿原地区の住民に広く「認知症を有している人々が暮らしている場所」である事が周知できる。	1. 運営推進会議にて広報活動の伝達を行う。 2. 柿原地区広報活動を開始する。 3. 地区回覧にグループホームラポールの紹介を行う。 4. 柿原地区住民に対して、四季折々の行事見学・参加等の案内を回覧に掲載する。	6 か月	運営推進会議において、柿原地区における施設の認知度が低いのではないかと意見を受ける。広報活動の始めとして、柿原地区一帯に自治会長を通じて、施設紹介文書の配布を行う。また日々地域住民に挨拶等の言葉がけから始め、徐々に地域住民から施設の有り様について問い合わせがあったり、入所についての相談が数件ある状況となっている。また柿原地区花一杯活動3年目、花を育てる環境にて住民交流が可能となっている。時々、近隣の和霊小学校の児童が遊びに来訪する場面がある。

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。
注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。
注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。
注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。